

第1回懇話会で、各委員の意見を踏まえ、戦略を推進するために重点的に取り組む施策（重点施策）と、その主な取組内容を設定した。

## ■戦略Ⅰ：あらゆる人材の活躍と雇用の確保

### 【重点施策：中小企業の人材確保支援】

- 求職者側と企業側のミスマッチがあると感じる。企業側は、女性や高齢者が働く際の要望や条件等の傾向を、求職者側は、事務職にこだわらず製造業など他の業種に様々な働き方があることを、それぞれ知ってもらい、相互理解が必要である。（加藤氏）
- 求人が多いのはサービス業だが、人材が定着しないので常に人手不足の状態で動いている。就職説明会でも「サービス業はきつい」という感覚を学生が持っている。（久保氏）

⇒ 求人と求職のミスマッチの解消

人材の定着支援

- 関西は女性の就業率が低く、女性の就業率を上げていくことが堺でも重要。（稲田氏）
- さらに女性の就業率を高めていくには、保育所などの整備を進めるとともに、仕事と育児の両立を応援する会社を増やすことが重要ではないか。（大石氏・加藤氏）

⇒ 女性が働きやすい環境整備

女性の活躍推進

# 第1回堺市産業振興アクションプラン懇話会での議論を踏まえた反映

## ■戦略Ⅱ：中小・小規模企業の経営基盤の強化

### 【重点施策：企業ニーズに応じた経営課題の解決 / 生産性の向上】

- 日本商工会議所が検討している一番大きな課題が、人材不足に対応する経営革新と小規模事業者の生産性向上に向けたIT活用。特に小規模事業者のIT活用は費用面や専門人材がないという点で非常に遅れており、堺でも同じ状況。支援が必要ではないか。（久保氏）
- 関西は賃金が全国に比べて伸びていない。全国に比べて生産性が低いことが要因と考えられる。特に非製造業の生産性が低いため、その「稼ぐ力」をどう高めるかが重要。（稲田氏）

⇒ 小規模企業の経営安定化

ITやIoT等の活用促進

設備投資の促進

## ■戦略Ⅲ：地域を牽引するリーディング企業への転換

### 【重点施策：海外市場の開拓】

- 日本国内の産業構造が変わり一部で空洞化も進む中、海外市場を狙っていくことは重要。その中で越境ECのように、ITを使える環境であれば、今まで海外と取引をするのが考えられなかったビジネスでも、インターネットを通じて海外展開が可能になっている。中小企業でも広く海外市場に目を向けていくことが大切ではないか。（豊岡氏）

⇒ 新たな形態での海外取引での拡大

- 留学生を含めて外国人の雇用を積極的にやると良いのではないかとと思う。日本で就職をしたいという学生はとても多い。海外市場開拓にもつながっていくのではないか。（大石氏）

⇒ 海外ビジネスを担う専門人材の確保と育成

## ■戦略Ⅳ：新しいビジネスが生まれやすい環境醸成

### 【重点施策：持続的な起業創出システムの構築】

○堺で起業したくなるような環境作りが必要。東京の墨田区はスタートアップベンチャーが、起業しやすいような環境作りをし、ビジネスプランコンペの受賞者に、インキュベーションに入ってもらい、試作品開発などを支援しているので参考にすべきかと思う。（豊岡氏）

⇒ **起業意欲の喚起と起業準備への支援**

### 【重点施策：高成長型ベンチャー企業の創出】

○IoTとかAIといったハイテク・ハイエンドなベンチャー企業が堺で起業するとか、移転をしてくるとか、これから期待できる付加価値の高い製造業を生み出していくような取組みが必要ではないか。（豊岡氏）

⇒ **成長性の高いベンチャー企業への集中的な経営支援**

○創業は何もないところからは生まれにくい。例えば、今事業をしている後継者の方々が、事業継承しながら新しい分野に参入できるような、又は、新分野に参入することで事業承継に繋がっていくよう仕組みづくりが必要ではないか。（久保氏）

⇒ **新たなビジネスに挑戦する第二創業への支援**